

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 6 月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農村教育推進費

事業名 農業用施設等災害対策事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農業経営課 担い手対策室
経営体強化育成係

電話番号：058-272-1111 (内4089)

E-mail：c11419@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 40,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	40,000	0	0	0	0	0	0	0	40,000
決定額	40,000	0	0	0	0	0	0	0	40,000

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

本年 2 月以降の記録的な大雪により、郡上市を中心にハウス等の農業用施設に被害が発生した。(被害総額 約171,741千円 4/24現在)

災害により被害が生じた県内の農業用施設の復旧を速やかに実施するため、「岐阜県農業用施設等災害対策事業費補助金交付要綱」に基づき、1 回の災害による農業用施設等の県内の被害額が 1 億円を超える災害により被害を受けた市町村(事業主体：郡上市、白川町、東白川村、飛騨市)が実施する災害対策事業に対する支援を行う。

なお、本件は国の補助金を活用できないため、県単独での補助を行う。

(2) 事業内容

1 回の災害による農業用施設の県内の被害総額が 1 億円を超える災害が発生した時に、復旧にかかる経費の一部を助成する。

【対象市町村】郡上市、白川町、東白川村、飛騨市

(3) 県負担・補助率の考え方

【補助率】補助対象経費の10/10未満の額

【上限額】①事業費×3/10

②(事業費×1/2) - (支払共済金(みなし共済金)×1/2)

①又は②のいずれか低い額

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	40,000	農業用施設（パイプハウス等）の復旧、補強及び倒壊したハウスの解体撤去
合計	40,000	

決定額の考え方

--

4 参 考 事 項

○直近の発動状況

令和5年11月飛騨地域（高山市、飛騨市）、令和6年3月飛騨地域（高山市）雪害時も同様の対応をしており、支援は妥当である。

県単独補助金事業評価調書

☐ 新規要求事業
☒ 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	農業用施設等災害対策事業費補助金
補助事業者（団体）	郡上市、白川町、東白川村、飛騨市
補助事業の概要	（目的） 令和7年2月4日以降に発生した雪害による農業用施設等の災害復旧支援 （内容） 農業用施設等の県内の被害総額が1億円を超える災害により被害を受けた市町村が実施する、災害対策事業に対する支援
補助率・補助単価等	定率 補助対象経費の10分の10（間接補助事業費に10分の3を乗じて得た額又は間接補助事業費に2分の1を乗じて得た額から支払（みなし）共済金に2分の1を乗じて得た額を差し引いて得た額のいずれか低い額を限度とする）未満の額
補助効果	被害を受けた農業者の経営への影響が最小限となるよう支援
終期の設定	終期7年度 （理由） 災害復旧のため

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか ・災害復旧事業のため、具体的な数値目標の設定は困難である。
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R7)	達成率

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	0	3,910	8,152

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和5年度	令和5年11月の雪害により被害のあった、高山市、飛騨市の農家11戸に対し、復旧支援を行った。 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和6年度	令和6年3月の雪害により被害のあった、高山市の農家30戸に対し、復旧支援を行った。 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	災害復旧支援のため、必要性が高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50～100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価) 2	被災農家に対し、農業経営を継続するよう促すことができた。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	早期再建を希望する被災農家の効率的かつ迅速な再建支援に資することができた。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--